

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	マルチサポートを通じたトップアスリートの育成・強化		<b>担当部局庁</b>	スポーツ・青少年局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度		<b>担当課室</b>	競技スポーツ課		競技スポーツ課長 芦立 訓		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	XII-3 我が国の国際競技力の向上				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	—		<b>関係する計画、通知等</b>	スポーツ振興基本計画 (平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定) スポーツ立国戦略 (平成22年8月26日策定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	「スポーツ立国戦略」(平成22年8月26日文部科学省策定)に掲げる目標の一つである「夏季・冬季オリンピック競技大会において、それぞれ過去最多(夏季37(アテネ)、冬季10(長野))を超えるメダル数の獲得」の実現を目指すため、スポーツ医・科学を活用したトータルサポートの実施、日本の科学技術を活かした最先端の技術用具等の研究開発、女性のライフサイクルに着目し、男女の性差を踏まえた最適トレーニング法やコーチングなどの研究開発を通じて、トップアスリートの能力を最大限に引き出し、国際競技力の向上を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	トップレベル競技者が世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される17競技をターゲットとして、スポーツ医・科学などを活用したトータルサポートを行うとともに、日本の科学技術を活かした最先端の競技用具・トレーニング機器の研究開発などを行い、多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施する。 また、世界の強豪国においてもトップアスリートに対するマルチサポート体制を充実させているが、メダル獲得数をさらに増加させるためには、女性トップアスリートの能力開発に注力することが効果的であると考え、女性のライフサイクルに着目し、男女の性差を踏まえて、出産・育児後に円滑に競技活動へ復帰できるようなトレーニング方法やコーチングなどの研究開発を実施する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—	0		
		繰越し等	—	—	—	0		
		計	—	—	—	2,245	0	
	執行額	—	—	—				
	執行率(%)	—	—	—				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル獲得数	成果実績	メダル獲得数					夏季: 37 冬季: 10
		達成度	個					
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	ロンドンオリンピック、ソチオリンピックでメダル獲得が期待できるターゲット競技数	活動実績 (当初見込み)	競技数		—	—	—	—
					—	—	( — )	( 17 )
<b>単位当たり コスト</b>	ターゲット1競技当たりのコスト(132,030,706円/1競技)		算出根拠	単位当たりコスト=平成23年度マルチサポートを通じたトップアスリートの育成・強化予算額(2,244,522,000円)÷ターゲット競技数(17競技)				
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金、職員旅費、外国旅費、委員等旅費、庁費		1百万円		平成23年度限りで廃止			
	スポーツ振興事業委託費		2,244百万円					
計		2,245百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>マルチサポート事業アドバイザーボードを開催し、スポーツ界の有識者から、マルチサポート事業戦略及びターゲット競技種目・競技者(チーム)の検討及びフォローアップ並びに事業受託者に対する助言を行ってもらうことで、本事業の成果目標に沿った適切な執行に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省  
2,245百万円

外国旅費等 1百万円を含む

「スポーツ立国戦略」(平成22年8月26日  
文部科学省策定)に掲げる目標の一つである  
「夏季・冬季オリンピック競技大会において、そ  
れぞれ過去最多(夏季37(アテネ)、冬季10  
(長野))を超えるメダル数の獲得」の実現を目  
指すため、スポーツ医・科学を活用したトータル  
サポートの実施、日本の科学技術を活かした最  
先端の技術用具等の研究開発、女性のライフ  
サイクルに着目し、男女の性差を踏まえた最適  
トレーニング法やコーチングなどの研究開発を  
通じて、トップアスリートの能力を最大限に引き  
出し、国際競技力の向上を図る。

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

【公募・委託】

A. トータルサポートの実施等:879百万  
円  
民間団体

スポーツ科・医学・報戦略など多方面か  
らの専門的かつ高度な支援を実施。

【公募・委託】

B. 研究開発プロジェクト:1,365百万円  
民間団体

競技用具やトレーニング機器等の研究  
開発、女性のライフサイクルに着目し、  
男女の性差を踏まえて、出産・育児後に  
円滑に競技活動へ復帰できるようなト  
レーニング方法やコーチングなどの研究  
開発を実施。

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごと  
 に最大の金額が支出され  
 ている者について記載す  
 る。費目と使途の双方で  
 実情が分かるように記  
 載)

A.民間団体			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究スタッフ、事務スタッフ、サポート スタッフ、調査スタッフ	408			
旅費	マルチサポート・ハウス委員旅費、サ ポートスタッフ旅費、研究スタッフ旅費	214			
一般管理費		80			
備品費	映像データサーバ、トレーニング用機 器、サポート用機器	73			
雑役務費	調査・分析業務	53			
諸謝金	マルチサポート・ハウス委員謝金、帯 同スタッフ謝金、映像編集・加工作業	26			
消耗品費	消耗品	11			
借料及び損 料	スタッフ用PCリース、複合機リース、サ ポート活動用携帯電話借料	8			
通信運搬費	サポート活動用携帯電話通話料、サ ポート活動用インターネット通信料	5			
その他	調査研究報告書印刷費、マルチサ ポート・ハウス委員会等会議費	1			
計		879	計		0
B.民間団体			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
制作・加工 費	競技用具・トレーニング機器等制作・ 加工	525			
備品費	競技用具・トレーニング機器等研究開 発用機器	347			
賃金	研究スタッフ、事務スタッフ	247			
一般管理費		124			
旅費	研究スタッフ旅費、被験者旅費	66			
消耗品費	消耗品	22			
借料及び損 料	スタッフ用PCリース、複合機リース	18			
諸謝金	研究協カスタッフ、被験者	16			
計		1,365	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0